

第五次内灘町総合計画策定に係る町民アンケート調査結果<概要>

<町民アンケート調査概要>

- ・目的：第五次内灘町総合計画の策定に向けて、町民意見を取り入れた新たなまちづくりの指針を定めるためにアンケート調査を実施
- ・調査：内灘町に居住する20歳以上の町民から2,000名を無作為抽出し、郵送による配布回収にて実施
- ・回収：回収票・601票、回収率・30.1%

(1) 内灘町の住みやすさについて

- ・内灘町の住みやすさ：住みやすい（住み良い+どちらかといえば住み良い）と回答した割合は約6割を占めるが、前回（H16）と比べ0.5ポイント減少
⇒西荒屋小学校区のみ、住みやすい（住み良い+どちらかといえば住み良い）と回答した割合が5割未満となっている。

- ・内灘町の自慢できるところ：回答者のうち「内灘砂丘・日本海（約4割）」「金沢医科大学病院（約4割）」「静かな住宅地（約3割）」

- ・住まい周辺環境に対する満足度 ※（ ）は満足：2点、やや満足：1点、普通：0点、やや不満：-1点、不満：-2点として算出した加重平均値

【上位3項目】

1位：病院など医療機関（0.81） 2位：自然の豊かさ（0.60） 3位：買い物などの日常生活（0.34）

⇒3位「買い物などの日常生活」では大根布小学校区（0.07）及び西荒屋小学校区（-0.14）の満足度は低くなっている。

【下位3項目】

1位：通勤・通学（-0.04）、2位：道路の安全（0.08） 3位：近所付き合い（0.16）

⇒1位「通勤・通学」では大根布小学校区（-0.22）及び西荒屋小学校区（-0.64）、2位「道路の安全性」では西荒屋小学校区（-0.28）が特に低くなっている。

- ・将来的な永住意向：永住したい（ぜひ永住したい+できれば永住したい）と回答した割合は約6割を占めるが、前回（H16）と比べ4.6ポイント減少

●内灘町全体では「病院など医療機関」「自然環境の豊かさ」「買い物などの日常生活」の評価が高く、「通勤・通学」「道路の安全性」「近所付き合い」の評価が低い状況にある。

●評価の高い「買い物などの日常生活」では北部と南部で意識が異なり、評価の低い「通勤・通学」「道路の安全性」では北部と南部で意識に差が生じている状況にある。

(2) 内灘町の地域づくりについて

- ・町政への関心：「大変関心がある+やや関心がある（約6割）」「関心がない+あまり関心がない（約4割）」
- ・町政への住民意見の反映度：「反映されている（約3割）」「反映されていない（約3割）」「わからない（約4割）」
- ・地域づくりの考え：「地域づくりは行政と住民が役割分担を行い、行政と住民、企業が協働で実施（約4割）」
「地域づくりは行政が主体に行いつつ、民間で対応できる事業は民間に任せる（約3割）」「わからない（約2割）」

- ・目指すべき将来像：回答者のうち「犯罪や交通事故のない安全なまち（約5割）」「福祉制度が充実したまち（約4割）」「自然が豊かな美しいまち（3割）」

●町政については、関心度が6割を占める一方、反映度は「わからない」が4割を占めており、町民の年齢層等に応じた、きめ細やかな情報提供を行うことが求められる。

●目指すべき将来像として挙げられた項目は、前項の内灘町の強み・弱みと合致する点が多く、強みを伸ばし、弱みを改善する取組が求められる。

(3) 内灘町の取組について

- ・満足度上位3項目：「ごみ処理・リサイクルの取組（0.57）」「救急時等における医療体制（0.37）」「上水道の整備、維持管理（0.26）」

下位3項目：「就労機会（-0.39）」「観光客の受け入れ、情報（-0.36）」「商工業振興・企業誘致（-0.25）」

- ・重要度上位3項目：「防災施設、取組（1.52）」「消防・救急体制（1.51）」「出産や育児支援（1.50）」

下位3項目：「国際友好都市等との交流（0.27）」「伝統芸能保存（0.60）」「スポーツ等の施設（0.71）」

- ・満足度が低く重要度が高い取組：

福祉：「4. 障がい者を支援する施設や取組」

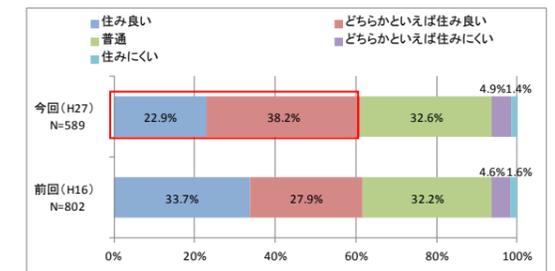
「5. 国民健康保険や介護保険制度などの社会保障内容の充実に向けた取組」

医療・安全：「8. 事故を防止するための交通安全環境の整備や取組」

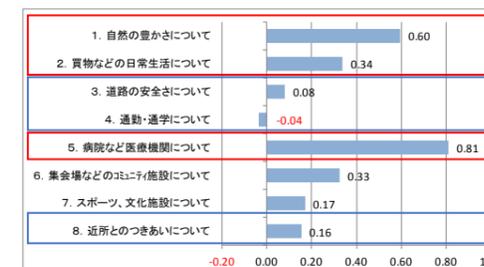
「10. 地震や水害などに備えた防災施設や取組」「11. 治安・犯罪防止のための施設や取組」

●上記、「満足度が低く、重要度が高い取組」の具体策を優先的に検討し、町民ニーズを踏まえたまちづくりへの対応が求められる。

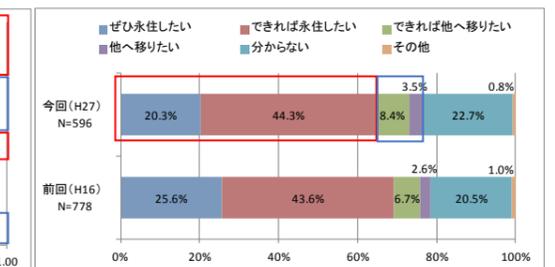
【住みやすさ】



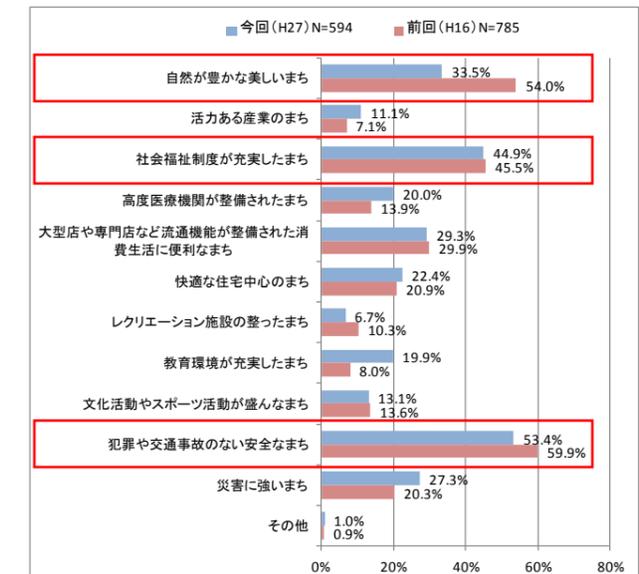
【満足度】



【永住意向】



【目指すべき将来像】



教育・文化・スポーツ：「15. 青少年の健全な育成を図る制度や取組」

産業：「24. 働く場所の提供など就労機会の促進」

都市基盤：「26. 海岸や河川の整備、保全」「27. 公共交通環境の整備、維持」

住民参加・行財政：「39. 行政サービスや職員の対応」「40. 無駄が少なく効率的な財政運営」

「41. 周辺市町等と連携した行政サービスの提供」

<中学生アンケート調査概要>

- ・ 目的：第五次内灘町総合計画の策定に向けて、中学生の思いを将来のまちづくりへ反映するために、アンケート調査を実施
- ・ 調査：内灘中学に通学する2年生257名に、直接配布・回収にて実施

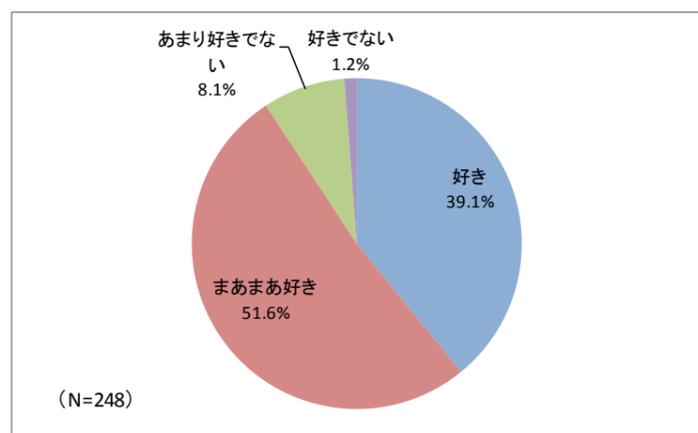
(1) 内灘町への愛着・住みやすさについて

- ・ 内灘町の好き/嫌い：好き（好き+まあまあ好き）と回答した割合は約9割を占める
- ・ 内灘町の好きな所：回答者のうち「風の祭典や祭り・イベントがある（約3割）」「海・砂浜が近くにある（約2割）」「サンセットブリッジ（約2割）」
- ・ 内灘町の嫌いな所：回答者のうち「お店や遊ぶ所が少ない（約5割）」「海や河北潟が汚い（約3割）」「交通が不便（約1割）」

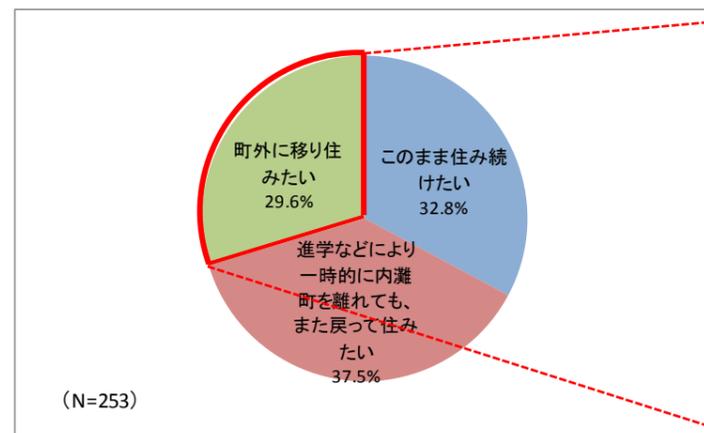
- ・ 内灘町の住みやすさ：住み良い（住み良い+まあまあ住み良い）と回答した割合は約5割、普通は約4割を占める
- ・ 内灘町の定住意向：「このまま住み続けたい（約3割）」「進学等で離れても戻りたい（約4割）」「町外へ移り住みたい（約3割）」
- ・ 町外へ移りたい理由：回答者のうち「買い物が不便（約6割）」「娯楽施設が少ない（6割）」「働きたいと思う場所がない（約4割）」

●中学生の内灘町への愛着は高く、「祭りやイベントによる賑わい」「恵まれた自然環境」、「町のシンボル（サンセットブリッジ）」を自慢できる所として認識し、町の魅力を高めるためには、「商業・娯楽施設の不足」「自然環境の汚染」「交通の利便性」等の充実を求めていると想定される。

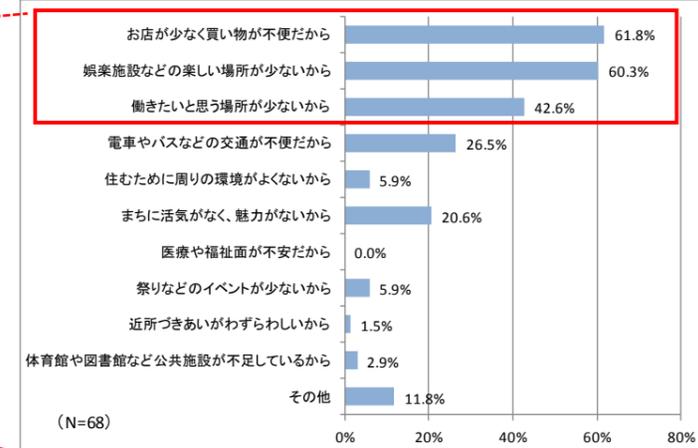
【内灘町への愛着】



【内灘町の定住意向】



【町外へ移りたい理由】



(2) 将来の内灘町について

- ・ 内灘町が目指すべき将来像：「買い物に便利なまち（約6割）」「安全なまち（約4割）」「自然が豊かな美しいまち（約4割）」
- ・ 将来の内灘町のイメージワード：「安心（6割）」「住み良い（約5割）」「豊か（約4割）」

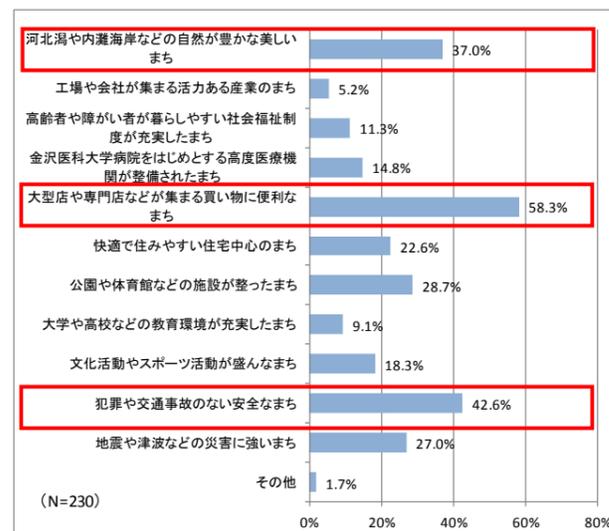
【参考（町民アンケート）】

将来像（上位3項目）：「犯罪や交通事故のない安全なまち」「社会福祉制度が充実したまち」「自然が豊かな美しいまち」

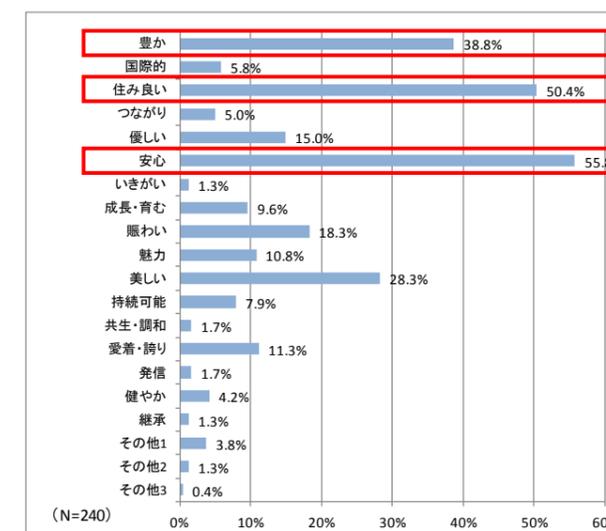
イメージワード（上位3項目）：「住み良い」「安心」「美しい」

●中学生が将来望む内灘町のイメージは、町民アンケートと合致する点が多く、町民・中学生双方から「犯罪や交通事故のない安全なまち」「自然が豊かな美しいまち」「住み良い」「安心」をキーワードとしたまちづくりが求められていると想定される。

【内灘町が目指す将来像】



【将来の内灘まちのイメージワード】



第5次内灘町総合計画 基本構想（骨子案）

町民アンケート調査結果（資料4）

◆町の住みやすさ・好感度

- ・住み良い+どちらかといえば住み良い：町民 61.1%、中学生 51.2%
- ・好き+まあまあ好き：中学生 90.7%
- ・評価：「医療機関」「自然環境」「日常生活」等の評価が高く、「通勤・通学」「道路の安全」「近所つきあい」等の評価が低い

◆将来の定住意向

- ・住み続けたい/戻って住みたい：町民 64.6%、中学生 70.3%
- ・町外に移り住みたい：町民 11.9%、中学生 29.6%

◆内灘町の自慢（上位3項目）

- ・町 民：内灘砂丘・日本海 44.3%、金沢医科大学病院 42.7%、静かな住宅街 25.9%
- ・中学生：凧の祭典・祭り 32.1%、内灘砂丘・日本海 24.4%、サンセットブリッジ 17.2%

◆優先的に取り組むべき施策

- ・障がい者福祉、社会保障（福祉）
- ・交通安全、防災、防犯（医療・安全）
- ・青少年教育（教育・文化・スポーツ）
- ・雇用場所の確保（産業）
- ・海岸・河川整備、公共交通（都市基盤）
- ・行政サービス、財政運営、広域行政（住民参加・行財政）

◆内灘町が目指す像（上位3項目）

- ・町 民：安全なまち 53.4%、福祉が充実したまち 44.9%
自然豊かなまち 33.5%
- ・中学生：買い物に便利なまち 58.3%、安全なまち 42.6%
自然豊かなまち 37.0%

◆将来の内灘町のイメージキーワード（上位3項目）

- ・町 民：住み良い 73.9%、安心 50.4%、美しい 17.0%
- ・中学生：安心 55.8%、住み良い 50.4%、豊か 38.8%

内灘町を取り巻く社会状況と課題

◆人口減少や少子高齢化の進展

- ・高齢者福祉や子育て支援、教育環境などの充実
- ・豊かな自然や定住基盤などを活かした定住・交流人口の拡大
- ・高齢者や女性の人材活用

◆産業の活性化と雇用環境への対応

- ・商工業や農水産業の振興
- ・新たな就業形態への対応、ワーク・ライフ・バランスの推進

◆安全・安心のまちづくり

- ・交通事故や犯罪等が少ない安全で安心な環境の充実
- ・地域と一体となった防災力や福祉力などの強化
- ・老朽化ストックの適切な維持管理と有効活用

◆豊かな自然環境（海・潟・緑）の保全

- ・自然や田園景観の保全、維持管理体制の強化
- ・リサイクルや省資源・省エネルギー等による循環型社会の形成

◆教育の振興と将来を担う人づくり

- ・子どもの学力や規範意識、地域や家庭の教育力の低下
- ・家庭・学校・地域の連携による社会で活躍できる人づくり

◆価値観やライフスタイルの多様化

- ・物の豊かさから心の豊かさへの転換、人と人とのつながりの変化
- ・近居や二地域居住等の新たな居住方法

◆地方分権と住民の参画・協働の拡大

- ・地方分権の推進による地方自治体の権限と役割の増大
- ・多様な主体の参画によるまちづくりの進展
- ・選択と集中による財政基盤の強化

若手職員ワークショップ

◆将来の内灘町のイメージキーワード

- 【自然】：自然豊か/水が豊か/水に囲まれた/海・空・砂丘人につながる内灘町/海がスキ！町がスキ！/マリンタウン//翠/蒼/碧
- 【居住】：住み良い/住み続ける/ずっと住みたい町
- 【安心】：安全安心/だれでも安心/ほっと安心
- 【つながり】：人が集まる/人-絆-結-活気
- 【活力】：いきいき活性/元気活力
- 【その他】：幸せを感じる/生まれる/子供がのびのび/welcome Uchinada/輝

将来像と基本目標（素案）

1) 将来像

『笑顔あふれ

みんな元気に暮らせるまち うちなだ』

2) 基本方針

豊かな自然とともに、安全で快適に暮らせるまち

都市基盤・防災・自然

地域の魅力を活かし、活力と交流が生まれるまち

産業・観光

みんなで支え、安心して健やかに暮らせるまち

福祉・医療・防犯

豊かな心と個性があふれ、みんなが輝くまち

教育・文化・スポーツ

絆を深め、みんなで創る自立したまち

住民参画・行財政

3) まちづくりの視点

○自然と共生した笑顔あふれるまちづくり

- ・内灘海岸や河北潟をはじめとする豊かな自然や閑静な生活環境、充実した医療機関などの本町の魅力を活かし、安全・安心で誰もが「住みたい、住み続けたい」と実感できるまちづくりを推進

○多様な連携・交流が生み出す活気あふれるまちづくり

- ・近隣市町との広域交流や観光振興による賑わいの創出、人やもの、情報等のつながりによって生まれる地域経済の活性化など、多様な連携や交流促進により、活気あふれるまちづくりを推進

○心豊かで思いやりあふれるまちづくり

- ・町民の積極的な参画と行政との協働による地域づくりや人づくりを通じて、心豊かで思いやりあふれるまちづくりを推進